

補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成21年度砂漠化対処条約科学技術委員会に係る活動支援等委託業務		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的 砂漠化対処条約第8回科学技術委員会では今後2年間の重点的検討課題を「砂漠化・土地劣化の生物学的・社会経済的モニタリング・アセスメント」としたこと、平成20年度に引き続きこの課題に沿った我が国の貢献を行うことを目的として、平成20年度委託調査により特定された砂漠化の進行の著しい地域等における砂漠化の要因や原因の特定し、及び同調査結果や砂漠化の評価手法を紹介すると共に同地域に対する、国際的な援助砂漠化対処支援を呼びかけるための資料を作成する。</p> <p>(2) 具体的な内容 (ア) アフリカの砂漠化進行地域における砂漠化の原因の特定及び紹介資料の作成 ① 砂漠化が進行している地域における原因及び背景の特定 平成20年度の調査結果から水食量が増大していると推定された3カ国(エチオピア、モロッコ、ブルキナファソ)において行政・住民・NGO・有識者等に対して聞き取り調査を実施し(各国行政関係者1～3名程度、NGO1程度、有識者1名、住民3～4名程度)、水食量の現状、増加、背景の特定を行った。また、土地利用の変化や背景についても住民に対する聞き取り調査を実施した。 さらに、ランドサットによる経年的な分析結果(マクロレベル)と現地調査のミクロレベルの調査結果から水食量の増大の原因として土地利用に変化を中心として原因の特定を行った。 ② 砂漠化評価手法の紹介及びアフリカの砂漠化進行地域に対する国際的な援助を呼びかける資料の作成 砂漠化に関するモニタリング・アセスメントが砂漠化対処条約における科学技術上の主要テーマとなっていることから、環境省による科学的研究の成果、平成20年度、21年度の環境省の調査結果、アフリカにおける国際的な援助の呼びかけ、砂漠化対処条約科学技術委員会における議論の経緯等を含めて、パンフレット形式にとりまとめた。 (イ) 専門家の派遣及び必要経費の支払等 砂漠化対処条約科学技術委員会への貢献を目指し、専門家を砂漠化対処条約第9回科学技術委員会及び第1回科学会合(平成21年9月22日～24日)に対して、恒川篤史氏(鳥取大学・乾燥地研究センター長・植物生産分野教授)を派遣し、必要経費の支払いを行った。(ウ) パンフレットの印刷 上記(ア)②にてとりまとめた資料(パンフレット)について、日本語1000部、英語2000部(A4、カラー、8ページ)を印刷した。</p>		
3. 交付先の公益法人の名称	財団法人 地球・人間環境フォーラム		
4. 交付実績額	10,994千円(A)		
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費	4,565千円		
(2) 一般管理費	1,364千円		
(3) その他の管理費			
	内容	金額	
		0千円	
	内容	0千円	
	合計	5,929千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
			0千円
	合計		0千円(B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	諸謝金	翻訳発注先	843千円
	旅費	派遣者への支給	2,623千円
	印刷製本費	印刷発注先	235千円
	借損料	借損先	246千円
	賃金	補助者	595千円
	合計		4,542千円
7. その他			
	内容	金額	
	消費税	523千円	
	合計	523千円	
8. 再補助・再委託等の割合	0%(B/A)		